

親子で楽しいひととき

こそだて
シッパ

大船渡でクリスマス会

気仙両市で活動を展開するNPO法人こそだてシッパ(伊藤悦子理事長)が運営するマサロンのベビー・キッズ合同クリスマス会は3日、大船渡市盛町のカメリアホールで開かれた。気仙3市町から約60組の親子が参加し、楽しいひとときを過ごした。

クリスマス会は、「親子でクリスマスを楽しくしてほしい」との思いで毎年この時期に開催。3年目の今回は、オリジナルお菓子づくりやゴスペルの披露などが行われた。

このうち、お菓子づくりには、盛岡市を拠点に子どもたちに遊び場を提供しているボラ

親子でケーキづくりに挑戦する参加者らにカメリアホール

ンティア団体「からふる」が協力。参加者たちは団体のスタッフに教わりながら、スポンジケーキを型抜きしたあとにチョコスプレーなどをトッピングしたりオリジナルのケーキづくりを楽しんだ。

ケーキづくりの途中からは、盛町の日本キリスト教団大船渡教会のメンバーが歌う賛美歌がBGMに。「いくしみ深い」「もろびとこそりて」など、クリスマスにちなんだ楽曲をピアノの伴奏に合

わせて披露し、会場を盛り上げた。

このあと、基石給食(株)(濱守豊秋代表取締役)と共に昼食のお弁当を提供した大船渡西ロータリークラブ(上野哲会長)が、寄付金25万2000円をこそだてシッパに贈呈。

この寄付金は、埼玉県のオートソレイユ実行委員会と越谷南ロータリークラブがチャリティーゴルフで集め、大船渡西ロータリークラブに贈ったもの。大

船渡西ロータリークラブは、こそだてシッパの活動に協力している縁で同団体に寄付することに決めたという。

伊藤理事長は「いろいろな人の協力があったイベントを開催できたことがうれしい。わたしたちも赤ちゃんから元気をもらっています」と笑顔で話していた。

上野会長(右)から伊藤理事長に寄付金が贈られた

